



預金を融資として地域に還元した比率を示す「預貸率」が全国の信用金庫で上位になるなど、地域の発展に寄与してきた桐生信用金庫（桐生市錦町）。1925年に設立され、まもなく迎える100周年に向け「ALL FOR SMILE（すべては笑顔のために）」を掲げる。

■仕事内容

入庫2年目で4月から本店営業部に配属された中里晃平さん(24)。資金調達や経営など顧客が抱えるさまざまな課題を解

顧客課題 一貫サポート

決するため、1人の担当者が一貫してサポートするコンサルタント営業を担う。

毎日バイクを走らせて担当する法人など顧客の元へ向かい、直接やりとりすることを大切にしていく。知識や経験がまだ浅いことを受け止めつつ「未熟で分からないことが多い分、基本をしっかりするよう心掛けてい



「いつでも相談される信頼できる存在になりたい」と話す中里さん

■キャリアアップ

入庫から約2カ月間、本部で研修した後、各支店などに配属される。中里さんは本店の窓口担当として基本業務を学んだ。

昨年10月からは新たに「営業マンツーマン制度」が導入された。ほとんどの職員が2年目以降に営

中里さんの1日

- 6:30 起床
- 8:15 出勤
- 8:30 朝礼
- 9:00 担当する顧客を訪問し、融資の相談をしたり、集金をしたりする
- 12:30 昼食。顧客の飲食店で食べることも
- 午後 外回り
- 16:00 店舗に戻り、現金の集計をしたり、書類を作成したりする
- 17:30 翌日の予定を確認して退勤。遅くとも18時半には退勤する
- 21:00 動画を見て息抜きをしたり、資格を取るための勉強をしたりする
- 23:00 就寝

業担当になることを見据えた制度で、先輩の営業活動に同行したり、事務処理を体験したりして配属前から営業スキルを高

■就活ポイント

説明会に参加する際は事前にホームページなどを確認して集めた情報

を事前に確認して集めた情報を確認して集めた情報

める。

信用金庫では地域のあらゆる業界の人と関わるため幅広い知識が求められる。金融や経営支援、法律などの資格を取る職員が多く、研修や補助などのバックアップ制度を整えている。

基に、必ず質問するようにしていただく。人事担当者にも声を掛け、積極的なコミュニケーションを心掛けた。一歩踏み出すことに気恥ずかしさやうずうしさを感じることもあるかもしれないが「自分は就活生と割り切ってアピールすることが大切」とアドバイスを送る。

企業データ

- ▷設立年 1925年
- ▷従業員数 515人
(うちパート52人、2021年3月末)
- ▷預金量 5412億円 (21年3月期)
- ▷新卒採用数 20人 (21年4月)
- ▷初任給 大卒総合職 20万円
大卒事務職 17万9000円

ためにも重要で、社会人に必要なコミュニケーションスキルの基本だと感じる。営業担当として「知識を増やし、お客さまにとって最適な提案をできるようにしたい」と力を込める。(大森未穂菜)